



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

『中小企業振興条例学習会』開催報告

日 時：7月23日 18時00分
会 場：長崎インターナショナルホテル
テーマ：「中小企業振興条例で地域をつくる」



7月23日(土)「中小企業振興条例学習会」が開催され、102名の方にご参加いただきました。

振興条例に関して先進地である千葉県より、条例制定に向けて尽力された 千葉県商工労働部 経済政策課政策室 副参事兼政策室長 篠崎千尋氏、千葉同友会事務局長 川西洋史氏を報告者に迎え、条例制定に至るまでの経緯、条例の意義、必要性を学びました。

千葉県は、条例の元となる「ちば中小企業元気戦略」策定の際に、県内各地で自主的に開催されていた「地域勉強会」に積極的に参加し、地域の現状や課題について活発な意見交換を行ってきたとの事です。

さらにこの戦略を基本として、中小企業振興と地域活性化の好循環を基本理念とし、産学官民それぞれが連携しながら検討を重ね、2007年3月に「千葉県中小企業の振興に関する条例」が制定されました。

なぜ条例が必要なのか？条例制定のメリットは？と

いう疑問に対して、「条例制定はあくまでも手段に過ぎない。その後、何をやるかが重要です。」と篠崎氏。

川西氏は、「例制定によって行政との垣根が格段に低くなり、中小企業の地域における役割を認識するようになった。また中小企業の魅力をPRする(旗印となる)役割を担う」とお話し頂きました。

今までは各企業の企業努力によって地域の仕事・雇用を守ってきましたが、これからは中小企業がそれらを創出しなければならない時代であると述べられた上で、地域経済活性化の為には中小企業家だけではなく、産学官民が連携しながらの総合性を持った地域振興が必要であり、また、互いに顔が見える関係、人間らしい組織である中小企業のその地域の中の魅力を再発見しなければならないと報告を結ばれました。

長崎での振興条例制定に向け、行政・他団体等との関係をさらに築き、大きな前進に向けた機運が高まった学習会となりました。

(文責 同友会事務局 芦塚誠司)



目次

『中小企業振興条例学習会』報告	1	コラム「ちょっとペットの話？」	14
7月例会報告	2	第18回経営フォーラムのご案内	14
会員企業大活躍	7	9月例会案内	15
中同協第43回定時総会参加報告	8	理事会議事録抜粋	16
新入会員・復会の皆さん	13	会員消息・会員数	16

大村支部例会報告

7月例会は、千葉県より千葉県商工労働部 経済政策課副参事兼制作室長 篠崎千尋氏 と、千葉県中小企業家同友会事務局長 川西洋史氏をお迎えし、「中小企業振興条例で地域を作る」～千葉県に見る中小企業の振興に関する条例と、中小企業元気戦略～をテーマに報告して頂き、全国に先駆けて条例をつくろうとされた経緯等をお話頂きました。

会場には、遠路、宮崎県より都農町町議、都農町商工会会員、宮崎大学教育文化学部教授、同友会理事・事務局長 御一行(12名)にも参加頂き、県内からは県議・市議・大村商工会議所他、県内企業の代表等、約100名近くの方々に参加頂き、報告者の話を真剣に聞いていました。

「中小企業憲章」は2010年6月に閣議決定されましたが、それより早く2007年3月には千葉県において「千葉県中小企業の振興に関する条例」が作成されておりました。

近年、中小企業をとりまく環境はこれまでにない大きな変化を遂げつつあり、県内の中小企業の中で99.8%を占める中小企業は、各地域において多様な役割を担っております。

千葉県は、中小企業を元気にするために、「ちば中小企業元気戦略」を2006年12月に取りまとめました。これは、全くのゼロベースから作り上げたもので、県内各地で自主的に開催されていた地域勉強会に、休日問わず42回のタウン

ミーティングを含む各種の集会に参加し、延べ900人以上の参加者と意見交換をし、各中小企業が抱える課題を出し、どのように解決に当たるか？行政としてのバックアップはどうすればよいのか？常に現場主義で考え、共に検討をして12の課題にまとめました。

この12の課題への取り組みこそが元気戦略であり「中小企業振興の基本理念」とし「中小企業者・産学官民の連携・地域作り」という3つの柱を定め、基本理念に則った中小企業の振興、県の経済の発展と県民生活の向上を目的として、「中小企業者・産学官民の連携・地域作り」を法律的に定義づけ、さらに、中小企業振興の基本理念・関係者の責務、役割手段として基本方針の制定などを含む全21条からなる「千葉県中小企業の振興に関する条例」を制定しました。

多くの意見交換および大学・行政の連携の結果、それまでは高く感じていた壁も低くなり、現在もこの条例を変更する場合、毎年広く県民の意見や中小企業者などの意見を求め、より効果的な条例に作り上げているとの事です。

このお話の後もたくさんの質疑応答があり、千葉県と長崎県との人口、所得額などの格差は感じられるが、基本理念は十分理解できるものであり、我が県も取り入れるべきものが多いと感じました。

(文責 松野 健助)

長崎浦上支部例会報告

日 時	7月19日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「経営指針に挑戦する！」 ～同友会の中で失敗と恥をかきまくる～
報 告 者	㈱ヤマハマリン西九州 代表取締役 吉澤 健 会員

7月例会は、吉澤 健さんに『経営指針に挑戦する』というテーマで報告していただきました。吉澤さんはヤマハ発動機㈱で30年営業をされていましたが、現在は㈱ヤマハマリン西九州の3年目の新米社長として、日々奮闘しておられ、試行錯誤の毎日だそうです。

今回、報告をするきっかけとなったのは、サブテーマにも挙げていますが、く同友会の中で失敗



と恥をかきまくる」という事が「報告すること」であり、それによって自分が一番成長できると考えたからだそうです。

吉澤さんは、長崎浦上支部の例会も長崎出島支部の例会も必ず出席していて、経営指針の勉強会にも参加されてます。同友会の中でこんなに積極

的に勉強している人はなかなかいないと思います。報告の中で同友会に入ろうと思ったのは、同友会の三つの目的である『よい会社をつくろう、よい経営者になろう、よい経営環境を作ろう』に感銘したからだそうです。

また、入会して半年ですが社内の雰囲気も少し変わってきて、社員も自主的に考えて仕事をするようになったそうです。それは、会社経営の目的の一つが、社員のための会社という事に吉澤さんが気づき、吉澤さんのその仕事ぶりから社員も社長の変化を感じて、自然と変わってきたのだと思います。

グループディスカッションでは、3年後の会社についてどのように会社を経営していくか？事業形態の変革や顧客への対応を変える等、多くの方が考えている事に感心しました。



最後に今回の例会で、会歴は長いのにあまり成長していない事、今のままの事業形態しか考えられない自分を反省出来た事に感謝したいと思います。

(文責 池田 繁隆)

長崎出島支部例会報告

日 時	7月20日(水) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「情報力それがあなたの営業力をきめる!」
報 告 者	長崎総合科学大学 工学博士 産官学連携センター長 池上 国広 氏

今回の例会は長崎総合科学大学工学博士産官学連携センター長池上国広氏より「情報力それがあなたの営業力



をきめる!」というテーマで、近年よく耳にする「産官学連携」、そして、地元長崎でその産官学連携を具体的な形として環境問題に取り組んでいる「東長崎エコタウン構想」についてご報告いただきました。

初めに大学の役割が、従来の研究・教育だけでなく社会貢献が加わったことをご説明頂き、続いて長崎の産官学の情報交流機関である「D-FLAG」や「産官学連携センター」その他いくつかの機関・施設を具体的な活動を交えてご紹介いただきました。

話を聞かせていただくと異分野での連携も進んでおり、工学系のみならず一般の企業でも産官学連携に係わる機会があるのではと感じました。

産官学連携センターのセンター長である池上国広

氏から、「同友会会員の皆様とも色々な形で係わり合いがもてるのでは?」「産官学連携センターの目的とする形はサロンです。気軽に誰でも足を運べる、電話をかけることができる場所にしたい。とにかく、接触を持つことが大事です。」と熱く語られました。

その後「東長崎エコタウン構想」についてご報告いただきました。聞いたことはあるけれども実際の内容はよく知らないという方が多く見受けられましたが、池上氏の具体的なご説明により、会員の皆様にも東長崎エコタウン構想がより近い存在となり、中には「自分の商売と何か係わり合いがないか?」と考えた会員もいたようです。

続いて、グループディスカッションでは「あなたの会社は顧客と市場の変化に対応できていますか?」という難しいテーマでしたが、多くの方が市場の変化を敏感に感じておられ、スピード感、独自性、コスト削減など様々な形で対応されているようでした。

今回の例会はオブザーバーの方も多く大変充実した例会でした。

(文責 中原 一也)



諫早支部例会報告

日 時	7月21日(木) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	税理士から見た伸びる会社の経営ポイント
報 告 者	井手雅康税理士事務所 所長 井手 雅康 氏



井手雅康
税理士事務所は創業から60年になる税理士事務所です。所長の井手雅康氏

は二代目所長になります。

井手さんは言われます。今、中小企業の70～80%が赤字で法人税を払ってないそうです。会社がよくなる為にはどうしたらいいのかを経営者は常に考え続けなければならないそうです。

まずよい経営者になるためには、「なぜ経営者になったのか?」と言う決意が明らかなのか?「どんな会社になりたいのか?」と言う目標があるか?ということが大切です。

それは商売の原点に帰る事が大切です。お客様が喜ばれることを一生懸命することによって、お客様に喜ばれ、感謝され、そして自分の幸せを感じるようになります。

そのためには経営理念を作る事は大切です。経営理念とは「何のためにこの会社にいるのか?何のためにこの会社で働くのか?」を明確にした物だと言えます。

そこで社長は社員に夢を与えきれるか、社員はその夢をかなえるためにどんな行動ができるかが

大切になります。そのため社長は夢を与えて行動指針を作らなければなりません。

事業の成功は50%が経営理念の確立です。それは一人一人の能力を伸ばす環境作りが30%。経営計画、経営戦略などのテクニックによるものが20%を占めています。

ところで、経営理念を作ると売上げが上がるのかと言う問いに対して、10億以上の売上を上げている会社の57%は経営理念をつくってますし、30億以上の売上を上げてる会社の70%、30億以上の会社は76%が経営理念を作っています。また入社する時に経営理念に納得して入社する人は会社に居続けようとするし、仕事を成し遂げようとしています。

しかし、どんなに立派なことを言っても採算が取れなければダメです。自社の10年後、15年後を経営理念に沿って経営計画を作り、夢を描く事が大切です。

これからは県民所得の減少、消費税が上がるなど企業の倒産が増える要素が多くあります。そこで、これを乗り切る為にも安定した経営を求めなければなりません。

固定資産を減らし、流動資産を増やす。不良資産の現金化はもとより、不良債権にならないように前もって手を打つキャッシュリッチ経営（入金してから払う）というのが必要となります。

最後に伸びる会社は社員がただ仕事をするだけでなく夢を持っている。そして、この会社にとって自分が何をすべきかと言う理念を共有し続ける事が出来る会社が伸びる会社の経営だとお話いただきました。

(文責 山田 圭一)

島原支部例会報告

日 時	7月21日(木) 午後7時
会 場	グレートダイニング城見
テ ー マ	「歴史に学ぶ経営戦略」～流れを読む～
報 告 者	前島原市教育長 宮崎 金助 氏

なでしこジャパンが騒がれる中、日本の男性もがんばってほしいと思っていたところ、例会の初めに同友会のスローガンを声高らかに唱和する姿を見て、日本男児もまだ捨てたものではないという言葉で始まった今回の例会の報告者は、古典の教師・前島原市教育長の宮崎金助氏です。



報告の内容は、歴史に学ぶ経営戦略～流れを読む～。歴史上の人物が行ったことを古文のまま読ま

れました。古文・歴史に詳しくない会員は、理解できない様でしたが、宮崎氏は、経営者には、本物に触れてほしいために、あえて原文そのままの古文を読ませて頂きましたと言われました。本物

を見る・聞く・触れるということによって、たくさん学ぶことがあるということがよくわかりました。

また、校長時代に歴史上の人物のリーダーシップや部下への気使いを見習って実行に移した職場の体験談や三井越後屋の繁栄した斬新なアイデア・大石内蔵助の話などが紹介され、会員は、時代を読んだり、先を読む大事さを痛切に感じました。

質疑応答では、歴史上の人物で今の時代誰を見習えばいいですかという質問で、上杉鷹山の本を読んでくださいと紹介を受けました。早速読んでみようという声が上がっていました。

今回の報告者は、経営に携われたことがない方でしたが、リーダーシップを歴史上の人物に習っ



たという点でたいへん勉強になり、歴史に経営を見習うことも大事だと感じさせられた例会になりました。

た。

最後に、経営指針づくり委員会より、第2回財務勉強会のお知らせがあり、会員の皆さんのレベルアップに役立てたいという決意も表明されました。

(文責 下田 幸徳)

佐世保支部例会報告

日 時	7月15日(金) 午後7時
会 場	佐世保市民会館
テ ー マ	「豊かな自然を未来の子どもたちへ残すためのわが社の経営」
報 告 者	(株)T・Y・Dメタル 本部長 湯浅 昇治 会員



今回の報告者は、同友会入会4か月の新人(株)T・Y・Dメタルの湯浅昇治会員に「豊かな自然を未来の子どもたちへ残すためのわが社の経営」というテーマで報告を頂きました。湯浅さんは、主に鉄のスクラップを回収し、流通する仕事をされていますが、今の業界は詐欺師が多く、お客様を騙して仕事をしているとの衝撃発言がありました。そのスクラップ業界に新しい風を吹き込み、正確に計量し、お客様から信頼され、そして適正な利益を頂き、物の流れがわかる様な仕事に取り組んでいます。

お客様から回収したスクラップを目の前で計量し、その金額も明確に決めることによって、信頼

関係を少しずつ築き上げられています。流通経路もマニフェストを作成する事で、安心をお客様に提供しています。

業界はなかなか変革を望まない中、この様な仕事への姿勢で「仕事とは信頼関係がなければ成り立つ事が出来ない」と日々頑張っておられます。

報告が終わり、グループディスカッションの後、グループ発表と質疑がありました。「湯浅さんは、どうして正直に生きておられるのですか」という質問に対しての回答は、「ある体験からの決意でした。」と答えられました。そして、我々の前で正直に生きる事の大切さを報告されました。

今回の報告により、佐世保支部の皆さんも仕事に正直に生き、お客様に信頼頂ける生き方をしなければならないと思われたと思います。そして、創業当時の原点を思い、一から努力する事の大切さを学ばせてもらいました。

湯浅さん報告有難うございました。

(文責 江口 陽一)



北松浦支部例会報告

日 時	7月21日(木) 午後7時
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	伸びる会社とは…
報 告 者	長崎総合警備保障(株) 島原営業所所長 金子 好延 氏



北松浦支部の7月例会は佐世保支部からの参加もあり、オブザーバーを含め多数の出席のもと進められました。

今回は「伸びる会社とは・・・」をテーマに金子好延氏に報告をいただきました。

金子さんは銀行の支店長を10年間(4ヶ店)勤められてきたという経歴をお持ちで、その経験から信用格付け・債務者区分等の話を詳しく聞くことができました。

中でも信用格付けという部分に皆さん興味を持たれたようで、その内容とは勤務されていた銀行



の場合、1～12段階の格付けがあり、良くて「4」これ以上が債務者区分としては「正常先」で「8～9」は「要注意先」、その後は順番に「破綻懸念先」、「実質破綻先」、「破綻先」となるということでした。

自社がどの格付けか気になるところでしょうが、それは行外秘らしく、融資を受けた場合の金利などからの推測しかできないそうです。

金子さんの軽快なトークもあり、例会は活況のままに終わり、最後に森会員の喜寿を祝し、同友会より贈られたお祝い品の授与式がありました。

改めて同友会の会員を大切にしている姿勢を感じられた一幕でした。

(文責 中村 寿弥)

青年経営者会例会報告

日 時	7月21日(木) 午後6時30分
会 場	秋月園&お茶 CAFÉ ふたつの葉
テ ー マ	「お茶の秘密を学ぼう!」～会員企業訪問例会～
報 告 者	(有)お茶の秋月園 代表取締役 秋月 徹雄 会員



今回の青年経営者会例会は、「お茶の秘密を学ぼう!」と題し、企業訪問例会を行いました。

青経前幹事長の秋月会員の会社を訪問させて頂き、実際に見学しながらお茶の魅力や、今年2月にオープンされた「お茶CAFÉふたつの葉」について、報告して頂きました。

小売専門店を始めたことにより、お客様から直接の声を聞けるようになったこと、商品の売り方を工夫したことよりの新たな客層が増えたこと(若い方や従業員が自社のお茶を買うようになったこと)など話を聞きながら、楽しく見学することができました。

今回の例会では、3人のオブザーバー(伊東建築の伊東秀政さん・デザインアルジュナの笹田健一さん・月光スタジオの大久保誠さん)に参加していただき、3名とも入会いただきました。

青年経営者会も、まだまだがんばって参ります!

秋月さん、お忙しい中、ありがとうございました。

(文責 飛田 精一)



会員企業大活躍!

シユシユ 長崎進出
浜町に15日オープン

農産物の直売や収穫体験、特製アイスクリームなど、町のアークード内に15日オープンする。山口成美社長は「県産品をアピールする場にして、地産地消を推進したい」としている。

「ユ」の長崎店が長崎市の浜町にオープンする。

店舗を出すことで「シユシユ」ブランドの浸透を狙う。大村本店で扱う農産物の9割以上は大村産だが、長崎店は長崎、五島、島原など県内各地の農産物や農産加工品を集めた直売所となる。果実や野菜をふんだんに使った人気のジェラートアイスやパンなども販売する。

3階建てビルの一階部分約300平方メートルに出店する。2階にはシユシユで扱う県産の農産物を使った料理が味わえるイタリアンレストラン、3階には結婚式の2次会などに利用できるパーティールームをオープンする予定。

↑大村支部 山口成美会員

→長崎出島支部 田本佳史会員

五島灘「白麹」「黒麹」900ミリボトル発売

新上五島町有川郷の五島灘酒造(田本喜実代社長)はこのほど、主力商品の本格芋焼酎、白麹(こうじ)五島灘と黒麹五島灘の900ミリボトルの販売を始めた。

価格は従来の720ミリボトルは従来より安価な1490円より安価な1240円。九州の居酒屋などでは主流の900ミリボトルの販売を通して、県内中心に九州各県での浸透を狙う。ボトルのラベルには、新たに五島の地理や文化などの説明も盛り込んだ。

田本佳史専務は「新ボトルは、お手ごろの価格になっている。県内の居酒屋に定番として置いてもらい、長崎の芋焼酎として定着させたい」と話している。問い合わせは同社電0959・42・0002。

販売を始めた900ミリボトルを手にする田本専務(新上五島町有川郷) (宮本宗幸)

ガーデンテラスにBCS賞



国内の優秀な建築作品に贈られるBCS賞に選ばれた「ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート」

メモリード デザインと調和を追求

建築主、設計者、施工者の3者を表裏している。本年度は全国から63作品の応募があり15作品が受賞した。同施設は建築家の隈研喜氏が設計を手掛けた清水建設(東京)が施工し、2009年に完成。稲佐山中邸に立ち、外壁には杉羽目板を使用している。同連合会は、長崎の夜景を楽しむ点や、経年変化や耐久性を考えた質実ある木の外観表現が木の新しい使い方を示した点などを評価した。

同施設の井上純時専務は「人、関係者と共にデザイン性や周辺環境との調和を追求し、新しい建築技術にも積極的にチャレンジした結果、観光都市長崎の新しいランドマークとして地域に貢献できると期待している」と喜びを語った。

県内ではこれまで、長崎原爆資料館(同市平野町97年)、県美術館(同市出島町06年)などが受賞している。(中島由)

木の外観表現 高評価

↑長崎浦上支部 吉田清規会員

新鮮 TOPICS

個人向け、法人向け格安オートリース Jプランが好評
 車は購入からリースの時代へ

有限会社上田自動車

地球温暖化やリーマンショック後の燃料価格高騰をきっかけとして、各自動車メーカーは低燃費車の開発に重点を置いており、ここ数年間で自動車の燃費性能は大幅に向上している。さらにハイブリッドカーのラインナップが拡大していることや、電気自動車の本格的な普及が現実のものとなっており、更に革新的な新車種の発売も期待される。

このような状況にあって、《新》上田自動車では、車は基本的に乗り換えていくものであるとの考えから、購入するよりもメリットの大きい、個人向けマイカーリースプラン「Jプラン」を展開、好評を得て新車販売を大幅に伸ばしている。

通常、車を購入すると、諸費用や消費税、カーナビなどのオプション料金が購入時に上がり、さらに毎年の税金や3年後の車検費用も臨時の支出として考慮する必要がある。しかし、マイカーリースの「Jプラン」では、これらの税金・諸経費はもちろん、エンジンオイル、点検整備費用まで全て含まれているため、毎月の支払はリース料以外には基本的にガソリン代のみである。しかも、一般的な5年ローンを利用した場合の総支払額(ローン返済額、プラス税金・諸経費)と比較すると「Jプラン」の支払総額は大幅に少なく、メリットは大きい。

1台分のご予算で!

3台!

2台目・3台目 お届けします。

「Jプラン」は、今までのマイカーリースにはない、自由に解約が出来る点も大きな特色である。例えば、2年ごとに新車に乗り換えても、同じ車種の旧車に乗り換えた場合、毎月の支払額は変わらない。また、例えば子供が小さいうちは軽自動車、2人目が生まれたら普通車に、子供が大きくなったからミニバンに、子供が独立したらセダンに、ライフスタイルに合わせて車を乗り換えても、車種ごとに設定された「Jプラン」月額のみの支払で、乗り換え時の諸経費や税金など一切不要である。

さらに、「Jプラン」には、法人向けの格安オートプランも用意されている。若年車をリースすると、自己資金を使わずに、諸経費を支払わずに、バランスシートの健全化、車検・諸経費などの出費を均一化できるため予算管理が容易など、管理上のメリットも大きい。

なお、現在使用中の旧車をそのままのリース化する、「リースバック」も可能である。これは旧車をリース会社が買い取り、現金化したうえで、リース契約により継続利用するシステムで、銀行の融資を使わずに資金調達可能なシステムである。

「Jプラン」では国内全メーカー・全車種を取り扱っており、また、長崎県下一円に「Jプラン」取扱店のネットワークがあり、近隣の取扱店をご紹介することも可能。お見積もりはもちろん無料ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。詳しくご説明させて頂きます。」と上田社長は語る。



企業概要

商号 有限会社上田自動車
 住所 長崎県島原市大町1-130
 代表者 上田 五月男氏
 資本金 260万円
 事業内容 自動車リース、中古車販売
 電話番号 0957-64-6165
 URL http://www.ocar-ueda.jp

←島原支部 上田五月男会員

中同協 第43回 定時総会 参加報告

日時：7月5日～6日

会場：ロイトン札幌

第3分科会

逆境の試練の中で確率されてきた同友会理念と 経営者魂

「労使見解」を生み出した自主・民主・連帯の精神

中同協相談役幹事（前会長）**赤石 義博 氏**

長崎浦上支部 末次 眞

7月4日前夜祭に長崎支部より6名参加あり・・・ホテルよりタクシーにて会場迄濱田さんに案内してもらおう。料理は、海の幸・山の幸・日本酒・焼酎・ワイン盛り沢山で、大変盛り上りました。私は真っ直ぐホテルに帰り、翌日迄ぐっすり休めました。

7月5日午前中、札幌市美術館見学、午後より総会に出席。会場は分科会別の座席で報告者の赤石さんが前列に座っていたので横に座って雑談しながら始まるのを待つ。赤石さんが髪を伸ばしっぱなしなので、挨拶する人達が「若くなりましたね」と、褒めてもらうので「床屋に行く時間がなかったのです。」と、私が返事を代行して総会が始まるのを待ちました。分科会で大変感動した事を箇条書きに致し、今後活かします。

自主・民主・連帯に始まって、そして、又、自主・民主・連帯に終る。その中で今回の感動を記します。

- ①安全な職場作りに努力する
- ②社員を減らさない様に頑張る
- ③社員を仲間として受け入れる
- ④私達は悪い事はしていないと自信をもっている。
- ⑤地域社会に貢献していると自信を持っている。
- ⑥従業員に対しては経営者地位の優越意識はなく、むしろ仕事に最善をつくす人間同士。



- ⑦政治的には特定の党派に偏らず、中小企業としての利害に基づき協力を要請する。
- ⑧多数決方式による意思決定を回避し、全会一致を求め少数意見を尊重する。
- ⑨社員に対して、やりがいのある職場作り（環境作り）に努力する。
- ⑩経営指針・経営計画書作りに協力。

自分も一日一日を大切に、一日一日を生きて行く事が私にとって必要だと、反省しました。

今後も従業員、即ち、パートナーと共に今まで以上に努力しようと誓って来ました。

追伸、日本で一番遠い北海道へ不景気にもかかわらず、長崎同友会19名出席に感動致しました。次回の機会を楽しみにしています。

ありがとう同友会！

第4分科会

「労使見解」を生かして経営指針実践運動へ

経営者として欠けていたもの～今、始まった変革への道

中同協経営労働委員会副委員長

美馬 徹 氏

大阪同友会 企業変革支援プログラム推進部長 **中本 久美 氏**

長崎出島支部長 濱田 利夫

中本久美氏からの報告、内部の問題として100時間を超える残業をどう減らすか？

課題は、夫である社長が1999年に企業した会社を2005年に5年後、社長夫人に社長交代宣言。悩みは、社員とのコミュニケーションができていないこと。2005年に同友会入会、「理念セミナー」

を受講。受講前は、久本氏は社員から管理をする人であり目線が高いと言われていた。社員に「やる気」を失わせているのは、会社と自分であり、目の輝きを取り戻すのが「経営理念」であることに気付いた。

リーマンショック後、単月で1200万円の赤字発生、この期は昇給ができないことを社員に告げたことで、社員との軋轢が発生。幹部から、会社の将来が見えないので「やめようかな」と言われた。

社長自身が理念セミナーを受講後、「社員のための経営指針理念セミナー」を社員4名を参加させた。社長の想いが伝わるまで、あきらめず実践することが重要。

新卒採用・社員教育・経営指針の実践が同友会運動の三位一体である。その後、「企業変革支援プログラム」に取り組んで、自社を客観評価してくれる最強のツールとして活用中。

この分科会の感想ですが、「企業変革支援プログラム」に取り組むには、経営理念と経営指針が策定されていて社員に浸透していることが前提であると思いました。当社でも「企業変革支援プログラム」でアセスメントを私と幹部社員5名で行ってみました。人ごとに該当する成熟度レベルにばらつきが出ることは、最初からわかっておりましたが、それぞれの成熟度レベルを1つ上げるために何をしたらよいかに取り組むことに躊躇しました。理由は経営理念が浸透できていないことが、すべての成熟度レベルに影響を与えていると判断したからです。成熟度レベルをひとつ上げるための改善活動を行っても、それは上っ面の改善であり根本的な原因に踏み込んでおらず、問題の根絶やしができないからです。

中同協は「中小企業憲章」「地域振興条例」、「企業変革支援プログラム」への取り組みを推奨しておりますが、前提条件として、新卒採用・社員教育・経営指針の実践が同友会運動の三位一体であり、これがベースにあつての「中小企業憲章」「地域振興条例」、「企業変革支援プログラム」であると私は理解してお

ります。

長崎同友会に求められるのは、次のテーマに常に取り組んでいる状態を作ることだと思います。1つ目は、経営者のための「経営理念策定セミナー」、2つ目は、経営者のための「経営指針策定セミナー」、3つ目は「社員のための経営指針理念セミナー」、4つ目は新卒採用の共同求人活動、5つ目は、合同入社式を盛り込んだ「社員教育セミナー」です。これらの取り組みをベースとした上で、「中小企業憲章」「地域振興条例」、「企業変革支援プログラム」が生きてくるのではないかと思います。

今、長崎同友会の会員が望んでいることは売上を増やし、定常的黑字体質の構築ではないかと思います。それが「会員の要望相談に応えられる会にしよう」の具現化です。

中同協の本部方針としては、「5万名会員」、「中小企業憲章」の推進でしょうが、まずは会員の要望相談に応えられる会になることが長崎同友会の会員のためになることであり、取り組むことに優先順位を付けて中期計画化することが会員から求められているように私個人としては思っております。

このような気付きを与えてくれた定時総会に感謝しております。

第14分科会

中小企業振興基本条例の制定とその後の取り組み

帯広支部幹事	渡辺 純夫 氏
南しれとこ支部別海地区会幹事長	山口 寿 氏
釧路支部幹事	福井 克美 氏
釧路市産業振興部次長	高木 亨 氏
北海道同友会代表理事	守 和彦 氏

大村支部 富永 栄一郎

現在、大村支部では大村商工会議所と協力して、中小企業振興基本条例制定運動を起こすべく協議会を開催する方向で進んでいます。

また、市議会の中にも委員会が発足し、大村市役所も積極的に進んでいく状況になりつつあります。ただ、今後どのように進めていくべきかを研究すべくこの分科会を選択しました。

北海道3支部の制定までのプロセスと現状の報告がありました。3支部で共通するのは、同友会が先導的役割を果たしていますが同時に地域の商工会議所と共同して推進していることです。大村でも先述の通り商工会議所に話を持って

いったのは正解なのだと確認できました。また、行政の担当課にも参加していただくことも重要だと思います。

同じテーブルには苫小牧市の同友会メンバーで条例制定の素案まで作成した方と同市の担当課長がおられました。素案作りは最終的には会議所と同友会で作成されていますが、月一回の協議会では当初、行政の方にも参加していただいていたとのことでした。素案は行政に渡し検討（改正）の後パブリックコメントを経て議会に上程され可決成立となるとのこと。また、同テーブルには既に制定されている札幌市の方がおられましたが、制定されている事実を認識されてなかったり、新潟市の方は市も商工会議所も全く受け付けてくれないので悩んでいる現状を報告されました。

地域ごとに様々な状況があるとはいえ制定までは相当のエネルギーを費やし情熱をもって望まなければならないことを改めて認識いたしましたし、制定後の運営はさらに情熱が必要になることを勉強させていただきました。

第15分科会

連携を広げ、仕事づくり地域づくりのできる同友会に
なぜ今、H o P Eの活動が注目されるのか

H o P E 代表世話人	渡辺 民嗣 氏
H o P E 企画委員	鈴木 耕浩 氏
北海道経済産業局 産学官連携推進室長	村上 敦 氏
H o P E 運営委員長	荒磯 恒久 氏

諫早支部長 山田 康成

H o P Eは2001年北海道同友会産学官連携研究会として発足。現在220名の会員と35の行政研究機関で構成されています。経営者が主役となる産学官連携モデルとして昨年産学官連携功労者表彰経産大臣賞も受賞しました。

北大キャンパスにある産学官の研究施設に移動しての分科会です。4名の報告者（同友会、大学、経済産業省、独立法人）から発足から今日に至るまでの苦労、成果、今後の展開を報告してもらいました。全国の産学官連携を推進している同友会も多数ありますが内容、質ともに北海道同友会は桁外れです。個々の企業で連携をするのと同友会で行うのでは大学、研究機関の協力体制も大きく違います。

H o P E (H O K K A I D O U P L A T F O R M E n t r a n c e) はこれまで月例会開催が、240回に及び、関連事業売上28億円、特許出願112件、取得60件の成果を挙げています。工業のみならず地域社会ネットワーク研究会も立ち上げて、地域の育成は行政、産業、地域住民とが連携して知見の社会還元を行う連携体制を目指しています。ここにいたるまでは長い時間と苦労もあったそうですが一番のポイントは例会を毎月休まず実施をする。例会後に懇親会を開いて産学官のコミュニケーションを図った。

学、官も実績を出すのが仕事ですから必ず協力してくれるはずです。まずは行動すること（門戸をたたく）から始めてください。とアドバイスを貰いました。長崎同友会も10年後にはこんな組織を作りたいと発表したら10ヶ月で作りなさいといわれました。同友会活動もいろいろあって何からやればいいのかと思っていましたが今会員が何を求めているのかを優先順位を決めてひとつひとつ取り組んでいきたいと思いました。

第5分科会

社員の可能性を引き出す経営者の役割

同友会の社員共育から見てきたもの
岡山同友会副代表理事 **梶谷 俊介 氏**

諫早支部 石橋 ゆかり

岡山トヨタ自動車㈱の代表取締役を務める梶谷氏は1991年に同友会に入会されました。

社員共育大学に社員を参加させ、幹部にフォローを任されました。2005年には社員教育委員長となりました。「社員共育大学は、社員を教育するためだけの場ではなく、経営者自身の気づきの場でもある。」ことに気付かれた梶谷氏のお話しでした。

まさに私たち経営者が悩んでいる労使見解が三位一体となり、対等な労使見解を目指されていました。

社員教育は経営者の仕草とも話されていました。人を育てるのは外部に任せることなく、社員と共に経営者が育ち合ってこそ理念の共有が出来てくる。

経営理念をしっかりと作り上げていく必要性を

話され、会社にとって都合がいい人ではなく、人間としてどう生きるのか？の話は、私も取り入れたいと思いました。

経営者も一緒に参加しないと社員教育大学には入れないそうです。

そこで社員に1年勉強してもらい自社の社員の気付き、学びの確認をされているということでした。あくまで社員を主体としているようです。

我が社の社員を一人からでも一緒に来てもらって共に考え方を共有できたらなと思います。

自分の実体験でいえば、試行錯誤して、お客様の要望に応えられるようなシートをつくったけれど、うまくいかずにまた作り直す。そういったことを繰り返すうちに、段々と完成してくのです。自分の考えだけでなく、社員の意見も聞きながら作ったものに対して必ず振り返って考えることが重要だと思います。

また、自分の長所、短所をヒアリングすることも大切です。同じ言葉でも、違った意味で受け止めていることもしばしばで、思いというのは一方通行ではいけないのです。

最後に「社長の本気度」が一番大切で、社員のことを本当に考えているだろうか？社員の可能性や経営者自身の可能性を信じ続けることが大切ではないでしょうか？

社員は経営者の鏡で社内の人たちに同友会のことを理解してもらうことが良い経営の近道ではな

いかと思います。私は、経営者の役割とは、人づくりではないかと思います。

もっともっと本気で仕事に取り組んでいこうと決心し、今回の話が聞けて本当に良かったと感じました。

第10分科会

中期ビジョンで描く、真に沖縄を代表する経営者団体に！

すべての支部で組織率10%突破を目指して
沖縄同友会代表理事 新垣 勲 氏

長崎浦上支部 中村 勝志

中小企業憲章が閣議決定され、早一年。

かつてよりの課題であった、私たちが住み暮す地域経済の縮小、過度な競争の激化に加えて、今年からはさらに、東日本大震災で受けた大ダメージ、原材料の不足と高騰、原発事故に伴う風評被害、電力不足の懸念…。

私たち中小企業家は、真正面から、これらの経営諸課題に早急に取り組まなければ、愛してやまない「故郷（ふるさと）」の衰退は避けられません。

「中小企業家の英知を結集し、地域再生をいかにかわるのか？」北の大地で開催された「第43回中小企業家同友会全国協議会定時総会 北海道大会」は、全国の同友会会員の皆さんが、それぞれの危機感を持って参加され、盛大に開催されました。

15に及ぶ分科会は、議案集に基づきテーマが配置されて、同友会活動の奥深さを窺わせます。

私が参加した第10分科会は、「中期ビジョンで描く、真に沖縄を代表する経営者団体に！～すべての支部で組織率10%突破を目指して～」と題し、沖縄県同友会代表理事、新垣勲氏が報告に

あたられました。

まずは、「沖縄県は、県民所得が最下位であること。また1972年（昭和47年）に返還されるまで、米国政府下で、製造業の発展を阻害されたことで、サービス業が突出し、米軍基地は、沖縄経済に十分な恩恵はないものの、現実には産業として存在する。」との厳しい現状を説明されました。

しかし地理的には、九州本土、韓国、台湾、中国本土がそれぞれ2000km圏内であり、さらに広げると、北海道から東南アジアをも経済圏として捕らえることができる好条件に位置し、既存の法律や仕組みを少しだけ変えるだけでも、成長の潜在的余地はあるとの事。

沖縄同友会の第4次中期ビジョンでは、「中小企業の元気な地域づくり！」を目指すために、憲章の学習と政策づくりを開始されましたが、そこに待っていたのは、他団体や行政との「みえない壁」であったようで、「政策立案の能力が問われる同友会」を痛感されることとなりました。

テーマである～すべての支部で組織率10%突破を目指す！～は、「能力と共に、勢力の拡大においても、地域への影響力を示したい。」との思いからであるに違いありません。

第5次中期ビジョンでは、このことを強く意識し、「沖縄を代表する経営者団体としての運動と組織の構築」を明確にされました。

報告を受けての討論テーマ①は「地域に根ざす

レンタル一筋四十年

無料で ロゴ社名入りマットを製作

☆空気清浄機 ☆キャビネットタオル ☆ハンドドライア
☆浄水器 ☆アルカリ整水器 ☆各種モップ
☆玄関マット ☆エレベータマット

(有)ダスキン栄進

電話 095-823-7633
Fax 095-823-7656

おかげさまで創業32周年

有限会社 プライアント 保険

Tel : 0956-28-2425 <http://www.pliant.jp>

□本店 佐世保市日野町70-4
□日野支店 佐世保市日野町1828-49 2F
□来店型ほけんショップ 佐世保市日野町1828-49 1F

魅力ある同友会づくりとは？」

まず、それぞれの会社が「地域から評価される会社づくり」の努力を積み重ねることで、「お役立ち企業」の認知がされる。このことを、各社の経営指針へ盛り込むことが重要。

さらには、「同友会の三つの目的」を掲げる経営者団体は他にない、誇るべきものであり、それは「地道ながらも、積上げてきた総合力を持っている！」証明でもあること。

「知り合い、学びあい、助け合う」会員相互の関係を大切にしている経営者団体であり、毎月の支部例会では、「本音の討論の楽しさと研鑽の場」を提供している。

これからも、地域の活性化のために、「地域へ密着し、地域を巻き込む力」を持ちたい。その素養は十分に持ち合わせている。などなど、矢継ぎ早に、「同友会の魅力」が披露されました。

参加者の皆さんの「愛」ともいうべき同友会の思いに、しばし聞き入るばかりであります。

さて、それでは、「地域の組織率をアップの課題は？」討論テーマ②となります。

どこの同友会も抱える、たいへん難しい課題です。

「何のための誰のための増強なのか？」についてから、この討論は始まりました。

仲間が増えると、企業経営に役立つ様々な経験、知恵、技術が蓄積されることとなり、地域発展のけん引者となる。つまりは、誰のためと言うよりは「自分」のために！ということであり、この価値観と、増やす目的を共有しなければなりません。

ここまでくると、さらに難しさが増大します。

先に記したように、同友会の魅力は十分過ぎる

ほどあります。「ならば、これまでのように「地道な活動」を続けることかも知れない。」と考えた次第でした。

「会員が報告者であり、グループ討論を通じ、会員の要望を的確に捉え、確かな実績として応えていく。」そして、「オブザーバーを例会への招聘し、この「学びあい」を体感してもらいたい。」

他にも「「やめない組織づくり」に関して、こまめに会員企業を廻り、参加を呼びかけていく。」等。

一朝一夕では、ままならない活動ですが、真摯に向き合うことが大事であると。自分自身の結論に達しました。

最後に、私にとって、初めての北海道への旅でしたが、北の大地は、想像通り雄大でした。そして何より、全国からお見えになり、知り合った会員の皆さんは、私に寛容であり、偉大な方々ばかりでした。ありがとうございました。



田中実行委員長を囲んで

ホームページリニューアル!!

情報広報委員会

たいへんお待たせしました。
ホームページがリニューアルしました。
ぜひ、ご覧ください。
バナー広告・協賛もお待ちしております。



新入会員・復会の皆さんです

(敬称略)

< 入 会 >

支 部 名	長崎浦上		
氏 名	ひだ せいいち 飛田 精一		
企 業 名	(有)サンレイ		
役 職 名	取締役		
企 業 住 所	〒852-8027 長崎市中里町1041		
T E L	095-838-2295	F A X	095-839-0097
業 種	業務用冷凍冷蔵庫、厨房機器、新品、中古品販売施工		
企 業 P R	新品、中古品、業務用冷凍冷蔵庫 売ります 買います 貸します		
スポンサー	飛田 政光		



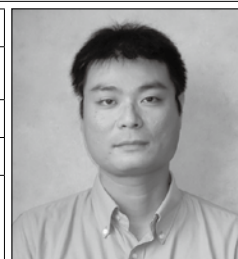
支 部 名	大 村		
氏 名	よしざき のりこ 吉崎 範子		
企 業 名	(株)アイディアル		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒856-0828 大村市杭出津1丁目544-1		
T E L	0957-54-1551	F A X	0957-54-4554
業 種	建築業、I T 通信業		
企 業 P R	私達は、お客様の視点を大切に考え、誰もが求める幸せな生活のために、よりよいライフスタイルプランをご提案致します。		
スポンサー	山口 成美		



支 部 名	諫 早		
氏 名	まえだ よしゆき 前田 義幸		
企 業 名	マエダオート		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒852-0062 諫早市小船越町2-1		
T E L	0957-42-6148	F A X	0957-42-6148
業 種	自動車販売整備業		
企 業 P R	店舗展開を始めて3年目に突入した若い店舗ですが、自動車業界には30年以上携わっています。あなたの町の車屋さんを目指しています。		
スポンサー	杉本 誠二郎		



支 部 名	佐世保		
氏 名	たけなが まさゆき 竹永 正之		
企 業 名	トノカワ電業(株)		
役 職 名	代表取締役副社長		
企 業 住 所	〒857-1164 佐世保市白岳町50-4		
T E L	0956-31-7178	F A X	0956-34-7610
業 種	電気工事業		
企 業 P R	「ありがとう(感謝)の気持ち」を大切にします。確かな技術で顧客満足と社員の幸せを守り、快適な社会環境づくりに貢献します。		
スポンサー	川上 利夫		



支 部 名	佐世保		
氏 名	やました ひろふみ 山下 博史		
企 業 名	(株)堀内組		
役 職 名	社長室長		
企 業 住 所	〒858-0908 佐世保市光町109		
T E L	0956-47-2127	F A X	0956-48-5069
業 種	総合建設業		
企 業 P R	農業、福祉、環境など様々な新規事業の連携により、幅広く地域に貢献することを目指す創業60年のHORIUCHIグループです。		
スポンサー	松尾 慶一		



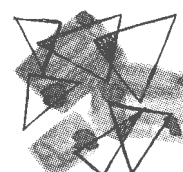
支 部 名	北松浦		
氏 名	こさざ れいこ 小佐々 玲子		
企 業 名	スナック 麗華		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒859-4501 松浦市志佐町浦免1238		
T E L	0956-72-2494	F A X	050-3707-2366
業 種	飲食業		
企 業 P R	お客様ひとりひとりに合ったおもてなしの心をコンセプトに、落ち着いた雰囲気の中、静かにリラックスできるひとときを、また陽気に楽しくくつろげるひとときを過ごして頂けるように充実したサービスを提供しております。お店はお客様の為にあるもの。明るく魅力的なお店であるよう日々心がけています。		
スポンサー	稲沢 文員		



広告募集

< 4 cm x 9 cm >

複数月 割 引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000



< 復 会 >

支 部 名	長崎浦上			
氏 名	いせき やちよ 井石 八千代			
企 業 名	㈱井石			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒852-8107 長崎市浜口町1番2号			
T E L	095-857-6311	F A X	095-857-5754	
業 種	運送業			
企 業 P R	当社は食品配送や廃棄物収集運搬等を行っています が、環境にやさしい街づくりに貢献したいと、現在グ リーン経営（環境負荷が少ない事業運営）を推進して います。			
前 会 員	永池 泰典			



「ちょっとペットの話？」

毎日ハードな仕事に追われている時に、ホッとさせてくれる存在は、家族同様のペットたちでしょう。代表的な犬や猫は、書店に行ってもペット用の専門誌がありますし、ホームページでもたくさん癒される写真が掲載されて、みなさんのペット自慢も花盛りようです。

我が家には、白い長毛の猫がおりまして、陽だまりでウトウトしていたり、カーテンに映った蝶々の影に向かって飛びついたりと微笑ましい限りです。ただ、私のことをエサ番だと確信しているらしくお腹が空いたら足にまとわりつきながら「ミャァ」とまん丸腫で見つめますが、それ以外は、無視状態。自由気ままにしています。

あー、私も猫になりたい。皆さんのペット様は、いかがですか？。投稿お待ちしております。（FUKU）



第18回経営フォーラム

今こそ、つながろう同友会

～私たちには、すごいチカラがある～

10/28(金) ◆ 長崎ロイヤルチェスターホテル

記念講演



㈱イドム
代表取締役
小出 宗昭 氏

挑め！今こそ連携！ 地域とわが社の新しい可能性

【講演要旨】

起業支援家として活動を始めて以来10年間で750件以上もの新規ビジネス立ち上げを支援されて来られた小出氏に、自社の真のセールスポイントの発見とその活かし方、また、企業連携による成功事例等、中小企業の勝ち残り戦略を豊富な具体的事例を交えてご講演頂きます。

【プロフィール】

1959年生まれ。法政大学経営学部卒業後、㈱静岡銀行に入行。M&A担当などを経て、2001年2月静岡県静岡市に開設した創業支援施設「SOHOしずおか」へ出向、インキュベーションマネージャーに就任。起業家の創出と地域産業活性化に向けた支援活動が高い評価を受け、2005年2月起業支援家としては最高の栄誉となる「Japan Venture Award 2005」（独）中小企業基盤整備機構主催）経済産業大臣表彰を受賞。2007年7月静岡県浜松市に新しく出来た産業支援施設「はまつ産業創造センター」へ出向、ビジネスコーディネーターに着任（現在非常勤）。2008年7月㈱静岡銀行を退職し独立、㈱イドムを創業。2008年8月より「富士市産業支援センターf-Biz」の運営を受託しセンター長兼プロジェクトマネージャーに就任。

第2分科会



フラッシュ㈱
代表取締役
古里 学 氏
（長崎出島支部会員）

【経営戦略】 共に学び共に育つ ～今こそあるべき共育の姿へ～

【報告要旨】

過当競争の美容業界にあって独自の経営戦略を持ってわずか5年で12店舗を展開中。新卒採用を行わず経験者のみの中途採用を継続する中で、ビジョンや考え方の相違によるクレームやトラブルが続出し、社内教育を始めるも「打つても響かない社員」を前に苦悩の日々は続き、教育とは何だ？と悩んでいた頃に出会ったある経営者の言葉で社長自らが先頭に立って学ぶ事の大切さを知り、社員と共に机を並べて共に学び続ける中で「共有なくして成長なし」と実感をした瞬間から未来が開けて来たように思います。苦闘の末に自らの体験を通して教育から共育への変化の有り方を赤裸々に語って頂きます。

【プロフィール】

1983年 長崎を離れ 美容師見習いをスタート
1997年 14年間務めた美容室を退社し長崎に戻る
2005年 フラッシュ㈱設立
2006年 長崎市市内に1号店を出店
2007年 フラッシュ株式会社代表取締役就任
2011年 12号店を出店
2008年 8月 同友会入会
2010年 長崎出島支部 副支部長 兼 増強委員長 就任

第1分科会



㈱若竹酒造場
林田 浩暢 氏
（福岡同友会・副代表理事）

【経営指針】 老舗酒造場の人間力経営 ～若き14代目の挑戦！社員に生きがいを与え、地域の未来を造る会社とは？～

【報告要旨】

実家の家業を継承する時に知った、10期連続赤字、年商の2倍の負債に驚き、経営者としての覚悟を決めてから取り組んだことは、まず経営戦略と経営計画作り。そして、その実行のために一番大切なものは、戦略と計画から積み上げて生まれた「経営理念」ということに気づきました。利益を出すにはどうしたらいいのか？従業員にどうやって生きがいを持ってもらうのか？初めて作った経営計画が涙でぐしょぐしょになったことは忘れることができません。取引先やお客様の顔が浮かぶ数字（経営計画）で、社内の雰囲気も少しずつ変化して来ました。数字の裏側にはドラマがある・・・。

若き14代目の挑戦はこれからが本番です！

【プロフィール】

1992年 ㈱若竹屋酒造場 入社
2000年 同社 第14代社長就任
2002年 ㈱柳屋 代表取締役就任（創業）
2009年 ㈱巨峰フーズ 代表取締役就任（後継）
1998年 福岡県中小企業家同友会 入会
2000年 経営指針検討プロジェクトリーダー 就任
2011年 副代表理事
（兼経営推進副部長、経営指針推進委員長）就任

第3分科会



㈱紀之国屋
中村 大志 氏
（福岡同友会・北九州支部役員）

【事業継承】 【継承問題】 ～会社を引き継ぐ そして 引き渡す～

【報告要旨】

結婚を期に奥様の父親の会社である㈱紀之国屋へ入社。他県から来た為実績や人脈もなく、経営者としての知識もない中、同友会へ入会。事務用品やリサイクルトナーの通販事業、人材派遣会社等の立ち上げなど新規事業を次々と行い、多くの成功と失敗（売上アップや会社への損失等）を繰り返しながら事業承継の準備を進めていく。

会社を引き継ぐにあたっての準備や心境、現会長が経営指針書や社員教育制度を準備してくれたこと、また現会長とのコミュニケーションなど多くの課題や悩み、感謝を経験。事業継承してからの問題や課題、そして今後どのような社長像、会社を目指していくのかを報告して頂きます。

【プロフィール】

1997年 ㈱紀之国屋入社
2003年 ㈱紀之国屋 常務取締役
㈱プロサポート 専務取締役
2008年 ㈱紀之国屋 代表取締役社長
㈱プロサポート 代表取締役社長
1997年 同友会入会
組織改編前の北九州西支部時代 異業種交流委員長 就任
2009年 支部役員（ブロック長） 就任
（現北九州支部に組織改編後）
2010年 北九州青年懇話会 会長 就任
2011年 支部役員（ブロック長） 就任

9 月例会案内

●長崎浦上支部

日 時 9月28日(水) 午後6時30分
会 場 ベストウェスタンプレミアホテル
テ - マ 『我が社の経営』
＜創業から25年のなかで、成功と苦しみ、そして進化＞

報 告 者 (株)エイコー商事 代表取締役
富川 栄治 会員

高校を卒業後、最初は造船関係の会社に就職して橋梁設計の仕事をしていましたが、事情もあり退社。その後、自動車の仕事は儲かると甘い言葉に乗って、今の会社を興しました。それから、会社の規模も拡大していく中で、金融期間との＜悪戦苦闘の戦い＞を交えながら、資金繰り表やキャッシュフロー経営の大切さ、それによる経営計画書の意義を報告して頂きます。

●大村支部

日 時 9月15日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ - マ 我が社の経営戦略
～「なぜ？」から始まった業界への疑問～

報 告 者 (有)上田自動車 代表取締役
上田 五月男 会員

平成3年の普賢岳の噴火災害で、自宅及び工場を失い、平成8年より現在の場所まで営業開始する。父の姿を見ながら後を継ぐ決意をするが、そこには業界に対しての疑問ばかりが…。自社の方向性を探りながら悩む中で、他県の同業他社を訪問した際にその解決策を見つける。平成17年7月には法人化をして、これを機に28才の若さで代表取締役へ。「見せる車検」を商品にしたお客様に喜ばれる様々なサービスを提供中！「同友会の価値を高める活動」についてもご報告いただきます。

●諫早支部

日 時 9月15日(木) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ 同友会に入会して変わったもの・見えたもの

報 告 者 まちだ歯科クリニック 院長
町田 澄利 会員

政策委員長である町田氏に同友会に入会してから、経営がどのように変わってまた、どのようなものが見えてきたかご報告していただき、同友会での学び、メンタルヘルスの面での事例や現在進行形の自社の経営計画所の取り組み状況をお話して頂きます。

●長崎出島支部

日 時 9月24日(土) 午後4時
会 場 サンプリエール
テ - マ 『私にとっての同友会とは？』
～あらゆる関わりの中で、常に思考し
ビジネスチャンスを作る～

報 告 者 ユニオンソフト(株) 濱田 利夫 会員
(有)いろは 林 昭彦 会員
(株)フラッシュ 古里 学 会員

第1部 3人のパネラーによるパネルディスカッション。コーディネーター大崎氏
第2部 3人のパネラーによる分科会
それぞれの分科会に座長
第3部 懇親交流会

●島原支部

日 時 9月14日(水) 午後7時
会 場 ホテル南風楼
テ - マ 経営指針を作ろう
報 告 者 小浜ガス(株)
酒見 英雄 会員 (諫早支部)

経営を行う上で一番大切な「経営指針」。簡単そうで奥深く取り掛かりにくい事ですが酒見会員に、詳しく説明して頂きます。

●県北ブロック

日 時 9月16日(金) 午後6時30分
会 場 サンパーク吉井
テ - マ 伊勢屋旅館の女将に聞く
報 告 者 小浜温泉 伊勢屋旅館
草野 有美子 氏

島原グランドホテル勤務後、伊勢屋旅館女将となり現在に至る。町づくりのため、各種委員会委員や市内各種団体と共に活躍中の草野氏にご報告いただきます。日本政策金融公庫の融資説明会も実施します。

●青年経営者会

日 時 9月21日(水) 午後7時
会 場 同友会事務局
テ - マ 経営者のための法律とQ & A
報 告 者 長崎中央法律事務所 弁護士
植木 博路 会員

弁護士の立場から、私たち若手経営者へ法的なお話をしていただき、後半はQ & Aにより会員の疑問難問を解決していきます。

1 仲間づくりについて

- 1) 入会・復会・退会の承認依頼についてー承認
入会 6 名（長崎浦上・長崎出島 各 2 名、諫早・島原 各 1 名）
復会 2 名（長崎浦上・島原 各 1 名）、
退会 2 名（長崎出島・佐世保各 1 名）

2 報告・連絡事項

- 1) 7 月 県本部・各ブロック・各支部・各委員会等の活動状況について
《経営指針づくり委員会》
1 6 日（土）サンアビリティーズ佐世保にて委員会を開催しました。（7 名参加）
まずは、委員が 9 月 1 7 日（土）福岡同友会の「あすなろ塾」（経営理念策定セミナー）に参加（私は 7 月 9 日に参加しました。）し、長崎版「あすなろ塾」作成に向けての基盤づくりを行うことを確認しました。次回より、委員の皆様にはたいへんかと思いますが、極力参加して頂きたいと思います。

《政策委員長》

2 3 日に大村市にて「中小企業振興条例学習会」を開催しました。実践報告を通して、中小企業振興条例の策定プロセス、条例内容、評価・検証過程など参考になる事項がたくさんありました。その後 2 9 日に、県産業労働部・市商工部に当日参加のお礼と、長崎商工会議所・商工会連合会・中央会には内容報告をし、今後の双方の懇談開催を確認してきました。8 月下旬より、まず中小企業団体と懇談を始めていく予定です。

2) 例会について（更なる例会の充実をめざして）

ー中村例会委員長

例会企画書に基づいた例会づくりが軌道に乗ってきた様です。会員の方による経営体験報告が増加傾向にあるのは喜ばしい限りです。
広報誌用の例会報告の提出（締切は例会日の 2 日後（情報広報委員会の申し合わせ））が若干遅れ気味の様です。締切厳守のご協力をよろしくお願いします。（報告用テンプレートを活用願います。）

3) 「中小企業振興条例学習会」を振り返って（今後に向けて）

ー町田政策委員長

今後の進め方が見えて来て非常に参考になりました。
今月 3 1 日（水）に委員会を開催し、積極的・定期的な行政・他団体との懇談会開催等について早速検討を開始します。

4) 県議会「経済雇用・災害対策 特別委員会」『意見交換会』（現地調査）（本日開催）について
（「地域振興条例」に関しての説明のため、大村支部に参加要請あり）ー宮田支部長（3）も含めて）

参加ー宮田支部長、富永支部政策委員長「中小企業振興条例について」
（オブザーバー 金井副代表理事、徳田支部相談役、大塚副支部長、山田事務局長）

- ・今、「中小企業憲章」は流れが来ていると痛感しました。
- ・皆で学習して前進する大きなチャンスです。
- ・同友会を本当にアピールできたと思います。

5) 中同協関係の件

①主要行事の紹介と参加促進

8 月 2 3 ・ 2 4 日（火・水）組織問題全国交流会／東京

8 月 2 5 ・ 2 6 日（木・金）

第 2 回 経営労働問題全国交流会／福岡（北九州）

9 月 1 5 ・ 1 6 日（木・金）

第 3 9 回 青年経営者全国交流会（略称：青全交）／富山

3 月 8 ・ 9 日（木・金）

第 4 2 回 中小企業問題全国研究集会（略称：全研）／福島

②中同協 全国事務局員研修（基礎コース）参加報告
ー芦塚事務局員

入局させて頂き、早 1 年。初心を忘れず、事務局員としての今後のあり方を見つめ直したいへんすばらしい機会を頂き本当にありがとうございました。
何事も「もっと知る」ことが重要であると学びました。
同期の仲間ができて、悩みを共有しながら、また、互いに切磋琢磨しながら業務に邁進致します。
今後とも指導の程よろしくお願い致します。

3 経営フォーラムについて ー川口実行委員長・吉田副実行委員長
テーマ「今こそ、つながろう同友会」

ー私たちには、すごいチカラがある～

開催日 1 0 月 2 8 日（金）

会場 長崎ロイヤルチェスターホテル（長崎・西友道の尾店近く）

参加費 7, 0 0 0 円

規模 1 8 0 名

（県南 各 50、大村・諫早・佐世保 各 20、島原・北松浦 各 10）

記念講演 ㈱イドム 代表取締役 小出 宗昭氏

「挑め！ 今こそ連携！ 地域とわが社の新しい可能性」

分科会 第 1 「経営指針」（担当・長崎浦上支部）

（岩若竹屋酒造場 林田 浩暢氏

（福岡同友会 副代表理事）

第 2 「経営戦略」（担当・長崎出島支部）

フラッシュ㈱ 古里 学氏（長崎出島支部）

第 3 「事業承継」（担当・青年経営者会）

㈱紀之国屋 中村 大志氏（福岡同友会 北九州支部役員）

※お願い 8 月例会にてキャラバンの時間を少々頂きたいをお願いします。貴重な時間を申し訳ありませんが、ご理解の程よろしくお願い致します。

・各支部目標についてー提案通り承認

県南・各 5 0、大村・諫早・佐世保・各 2 0、島原・北松浦・各 1 0 名 計 1 8 0 名

・チラシ案についてーご意見・ご提案・お気づきの点等ありましたら、お寄せ下さい。
（理事会に提示頂きましたが、じっくりご覧頂くために理事会メーリングにデータを発信します。）

・キャラバンについてのお願いー今月例会よりキャラバンに参加させて頂きます。
詳細につきましては、個別にお願い致しますので、支部長各位よろしくお願い致します。

・フォーラムノートへの名刺広告についてー先月理事会で承認を頂いた通り、1 口 2, 0 0 0 円で
6 0 名を目標に、プリントを作成しお願いさせて頂きます。
ご協力よろしくお願い致します。

4 協議・承認事項

1) 理事選考委員の指名・承認についてー承認

《理事選考委員会 委員会構成》 委員長ー平湯前代表理事、委員ー全理事 計 2 2 名

退会者リスト（敬称略）

会社名	会員名	支部名
土地家屋調査士	野 田 三 郎	長 崎 浦 上
㈱フォレスト	森 康 博	長 崎 浦 上
㈲ひらの保険	平 野 義 信	諫 早
相川工務店	相 川 透	島 原
㈲エフケイファーム	福 島 巨 大	島 原
㈱ふたば	奥 野 了 子	佐 世 保
昭和陶器㈱	橋 本 和 也	佐 世 保
㈲井芹地所	井 芹 裕 貴	北 松 浦
㈲アンビエンテ	久 松 まゆみ	北 松 浦

会員消息

●住所・電話・FAX変更

豊村 哲也 会員（佐世保支部）

新住所：〒858-0903 佐世保市上本山町1011-2

電 話：0956-49-4633

FAX：0956-49-4635

会 員 数（8月10日現在）

	長崎浦上	長崎出島	県 南	大 村	諫 早	島 原	県 央	佐世保	北松浦	県 北	合 計
目 標	1 0 0	1 0 0	2 0 0	5 0	8 0	4 0	1 7 0	1 0 0	4 0	1 4 0	5 1 0
期 首	8 4	8 4	1 6 8	3 8	4 0	3 1	1 0 9	6 9	3 1	1 0 0	3 7 7
受 付 含	8 9	8 6	1 7 5	4 2	4 3	3 2	1 1 7	6 8	2 9	9 7	3 8 9